

ふらもん

先月から診療室の受付で小さなマグネット「ふらもんマグネット」（一個100円）を販売しています。これは知的障害者通所施設「ふらっとなかの」（中野区本町）で作られたものなのです。一つ一ついいねいに作られており、見ていて飽きない愛嬌のある表情。羊毛で作られており、技術もいるようですが、かなり精巧にできています。マグネットのほかに携帯ストラップなども置いてあります。



た。パンや豆腐を頂いたのですが、本当に美味しく、正直ビックリしました。さすがに生ものを歯科で売ることはできませんが...

この「ふらもん」の売り上げは「ふらっとなかの」の活動資金になります。ご興味があればぜひご購入くださいね。

むし歯が進むとき

僕たちが小さい頃の歯医者さんの常識は、「早期発見、早期治療（削り取る）」でした。その根本にある考え方は、むし歯は進行していくもので、一度なったら早く治さなければならぬ、ということでした。しかし、むし歯は進行したり、止まったり、本当に軽い時には治ることも分かってき

ました。一番身近な例を言うと（僕にとつて）、歯学部に入學した時、クラブの先輩の実習として予防歯科を受診したことがあります。その時、左下の歯にむし歯が見つかったのですが、当時の指導医の先生の指示で経過を見ることになりました。その後僕も気になって見ているのですが進行する気配はなく、今でも当時と変わらない状況です。

歯を削るということは、むし歯だけ削ることではありません。健康な部分も削るということです（多くの場合健康な部分の方が多い）。僕たちにとっては今が削るときなのかどうかを見極めることが難しいのです。皆さんの歯は大切なのでから。